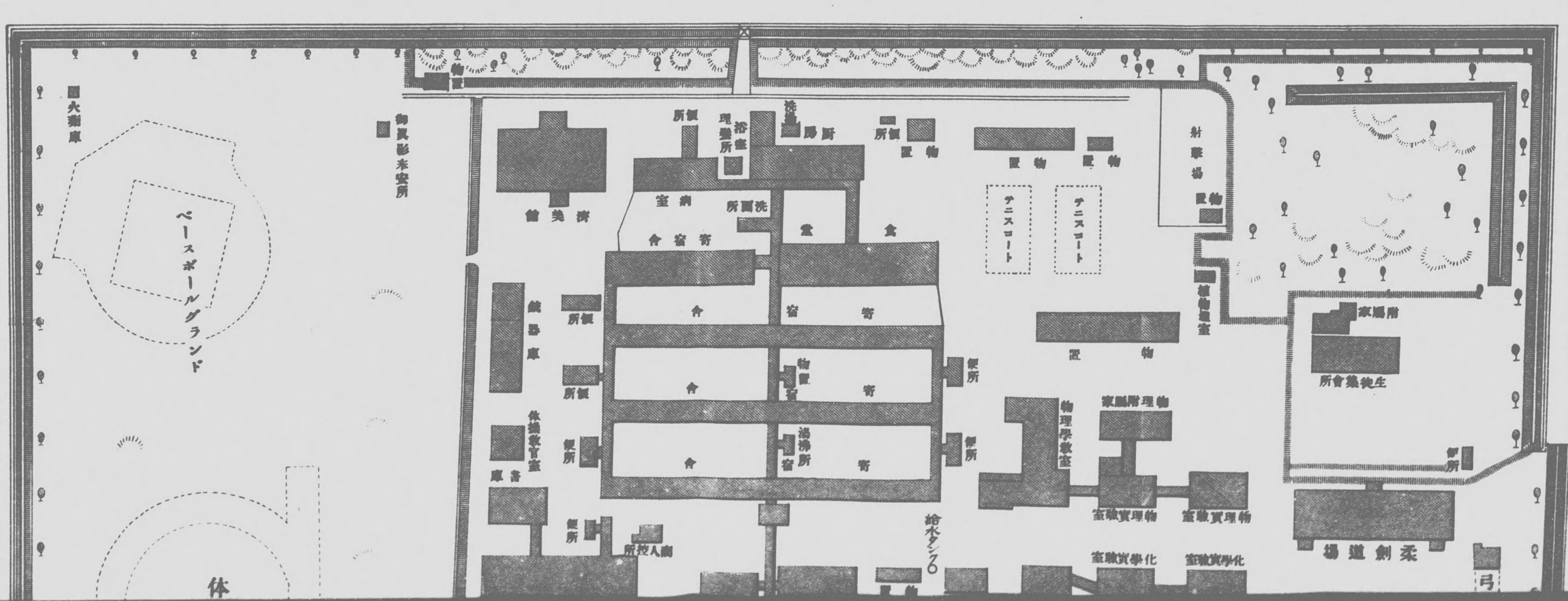
# 附圖　第五高等學校略圖

# 第五高等學校略圖



グランド
体操場
テニスコート
体操教官室
書庫
便所
人控所
圖書閲覧室等
事務室
湯沸所
小使室及物置
寄宿舎
湯沸所
物置
生徒控所
修身教室
本館教室
給水タンク
物置
發電機室
便所
物理學教室
物理附屬室
物理實驗室
化學實驗室
化學教室
化學倉庫
瓦斯溜
化學教室附屬家
物置
植物動物及礦物地質學教室
新教室
圖畫教室
生徒集會所
柔劍道場
弓道場
供待所
門衛所
植物園
物置

縮尺壹千貳百分之一

# ○龍南會規則

## 總則

第一條　本會ハ第五高等學校職員生徒及本校ニ緣故アルモノヲ以テ組織シ相共ニ智識ヲ磨キ身體ヲ鍊リ交誼ノ親密ヲ計ルヲ以テ目的トス

第二條　本會ヲ龍南會ト稱シ第五高等學校內ニ置ク

第三條　本會々員ヲ別チテ名譽會員、客員及通常會員トシ本校職員ヲ以テ名譽會員トシ本校ニ緣故アル者ヲ以テ客員トシ本校生徒ヲ以テ通常會員トス

第四條　本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

一　演說部

一　雜誌部

一　劍道部
一　弓術部
一　柔道部
一　野球部
一　庭球部
一　端艇部
一　水泳部
一　山岳部
一　陸上競技部
一　蹴球部

第五條　新ニ部門ノ起ル事アルトキハ之ヲ本會ノ監督ノ下ニ置キ一ケ年以上其發起人ニ於テ萬事ヲ負擔シ其時日經過ノ後役員會ヲ開キ會ノ一部トナスヘキヤ否ヤヲ決スヘシ但シ新部門ノ發起人ハ當





初之ヲ本會ニ通知シ置クコトヲ要ス

第六條　本會々員ハ各部ノ規則ニ從ヒ隨意ニ各部々員タルコトヲ得

第七條　本會ニ左ノ役員ヲ置キ役員選擧規則ニ依リ之ヲ選定シ其任期ヲ一ケ年トス

一　會長　一名
一　副會長　一名
一　部長　各部一名宛、
一　會計係　一名
一　委員　二十九名　各部委員　二名宛
　內總務委員　二名
　但雜誌部委員ハ五名トス
一　幹事　總務及各部毎ニ必要ニ應シ若干名
一　總代　本校級別各組一名宛

第八條　本會ノ事務ハ會長之ヲ監督シ事務取扱規則ニ依リ役員之ヲ取扱フ

第九條　本會ハ會員其他ノ寄附金及ビ定時出金ヲ以テ一切ノ費用ニ充ツ

第十條　會員ニシテ不都合ノ所爲アリト認ムル者ハ役員ノ決議ヲ以テ之ヲ除名スルコトアルヘシ

第十一條　本會ノ規則ハ役員七名以上ノ發議ニヨリ役員ノ會議ヲ開キテ其三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ之ヲ改正スルコトヲ得ス但シ出席人員總員(幹事ヲ除ク)ノ四分ノ三ニ上ラザレハ本會議ヲ開クコトヲ得ス

事務取扱規則

第一條　役員ハ左ノ事務ヲ取扱フモノトス

一　會長ハ本會ヲ總理ス





二　副會長ハ會長ヲ輔翼シ會長事故アルトキハ其代理タルヘシ

三　部長ハ各其部ノ事務ヲ管理ス

四　會計係ハ出納ニ關スル諸般ノ事務ヲ取扱フ

五　總務委員ハ會長ノ監督ヲ受ケテ本會全體ニ關スル事務ヲ取扱フ

六　各部委員ハ各其部ノ常務ヲ取扱フ

七　總務幹事及各部幹事ハ各々總務委員及各部委員ノ事務ヲ輔佐ス

八　各組總代ハ委員ト提携シテ各々其組ニ關スル事務ヲ取扱フ

第二條　本會全體ニ關スル事件ハ會長ヲ以テ議長トシ役員會議ニ於テ役員ノ議決ニ依リ之ヲ定ム但シ幹事ハ採決ニ加ハルコトヲ得ス又組總代ハ會長ニ於テ必要ト認ムルトキノミ會議ノ席ニ列スルモノトス

第三條　役員會ノ議決及ヒ其他後來ノ先例トナルヘキ事項ハ之ヲ記錄ニ存スルモノトス

第四條　本會全體ニ關スル費用ニシテ已ニ慣例アルモノハ役員會ノ議ニ附スルヲ要セス會長及總務委員ニ於テ之ヲ支出スルコトヲ得

第五條　假令慣例ナキ費用ニテモ至急ヲ要スル場合ニ於テハ會長及ヒ總務委員ニ於テ之ヲ決シ次ノ役員會ニ於テ事後承諾ヲ求ムヘシ

第六條　本會各部ニ關スル細則ハ該部長及ヒ該部委員ノ協議ニ依リ之ヲ定ム但シ會長ノ認可ヲ受クルヲ要ス

第七條　各部ニ關スル常務ハ各部細則ニ依リ該部委員之ヲ取扱ヒ重要ノ事ハ部長ノ認可ヲ得尋常ノ事ハ單ニ之ヲ通知スルモノトシ部長ハ之ヲ會長ニ報告スルモノトス

## 會計規則

第一條　名譽會員ハ會費トシテ毎年總計金七百圓ヲ納ムルモノトス





通常會員ハ會費トシテ第一學期ニ金四圓五拾錢第二學期ニ金參圓五拾錢第三學期ニ金貳圓五拾錢ヲ每學期授業料納付期日ニ納ムルモノトス若シ滯納スル者アル時ハ其ノ保護者(父母其他尊屬等)ヲ經テ之ヲ督促スルモノトス但シ此場合ハ本校長ノ許可ヲ得ルヲ要ス

第二條　新入ノ通常會員ハ入會費トシテ金參圓五拾錢ヲ納ムルモノトス

第三條　每年一月一日ヨリ同年十二月卅一日迄ヲ一ケ年會計年度トス

第四條　每年十二月中ニ次年度役員ノ會議ヲ開キ本會次年度豫算ヲ決定スルモノトス

第五條　總會計ハ會長ノ監督ヲ受ケテ會計係之ヲ取扱フ

第六條　無所屬會計ハ總務委員會長ノ監督ヲ受ケ各部會計ハ各部委員各部長ノ監督ヲ受ケテ之ヲ取扱フ

第七條　每學期ノ初ニ於テ總務委員及各部委員毎ニ各一名ノ會計委員ヲ互選シ部長(總務委員ニ在リテハ會長)ノ承認ヲ得テ其氏名ヲ會計係ニ通報スヘシ會計委員ハ各所屬經費ノ支出ヲ要スヘキ一切ノ契約ニ關シテ專ラ其任ニ當ルモノトス凡テ支出ハ豫算ノ範圍ヲ超エテ爲スコトヲ得ス若シ範圍ヲ超過シタル場合ハ該會計委員ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノトス

第八條　通常毎月上旬ニ於テ總務會計委員ノ召集ニ由リ會計委員會ヲ開キ各委員ノ報告ニ基キテ會計ノ實狀ヲ審査シ必要ト認ムル協議ヲ遂ケ其結果ヲ會長ニ報告スルモノトス

第九條　各年度會計決算報告ハ次年度一月十日迄ニ會計係ニ於テ之ヲ作成シ各部役員及總務委員ニ合議ノ上之ヲ會長ニ報告スルモノトス

第十條　本會收入金ハ當座預トシテ信用アル銀行ニ預入ルルモノト





ス

第十一條　委員ニシテ經費ノ支出ヲ要スル物件ヲ購入セントスル時ハ本會所定ノ購入傳票ヲ用ヒ必ス其購入證票ト引換ヲ以テ物件ヲ受領スヘシ

該代金請求者ハ此證票ヲ以テ本會會計係ニ就キ現金ノ支拂ヲ請求スルモノトス但シ證票ノ有効期間ハ發行年度末限トス

委員ハ代金支拂日三日前迄ニ既ニ購入セル物件ヲ具シテ原票及購入通知票ニ部長(總務委員ニ在リテハ會長)檢印ヲ受ケ購入通知票ハ之ヲ會計係ニ廻付シ原票ハ之ヲ該年度決算終了時迄自ラ保管スルモノトス

會計係ハ代金請求者ノ提出セル購入證票ト委員ヨリ廻付セル購入通知票トヲ照合シ紀入事項ニ相違無キヲ認メタル後現金ヲ代金請求者ニ支拂フモノトス

右現金ノ支拂ハ特別ノ場合ヲ除ク外毎月十三日(日曜祭日ノ場合ハ順延)ヲ以テス

第十二條　參圖未滿ノ金額及報酬又ハ遠隔ノ地ニ對スル支拂等代金請求者ヲシテ直接本會ニ出頭セシメ難キ場合ハ前條ノ規定ニ拘ラス委員ニ於テ豫メ事由ヲ具シテ部長(總務委員ニ在リテハ會長)ノ承認ヲ受ケ會計係ヨリ所要ノ現金ヲ預リ之ニ由リテ支拂スルコトヲ得而シテ此支拂ニハ本會所定ノ支拂傳票ヲ用フルモノトス

委員ハ經費支拂後成ルヘク速ニ物件ヲ具シテ支拂請求票及原票ニ部長(總務委員ニ在リテハ會長)ノ檢印ヲ受ケ支拂請求票ハ領收證票及殘金ト共ニ支拂決算書ヲ添ヘテ會計係ニ差出スヘシ原票ノ保管ハ前條ニ同シ

## 役員選擧規則

第一條　會長及副會長ハ全會員ノ選擧ニ依リ之ヲ定ム但シ當分會長ハ校長ヲ以テ副會長ハ首座敎授ヲ以テ之ニ充ツ

第二條　各部々長ハ各々其部員ノ選擧ニ依リ之ヲ定ム但シ當分名譽會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第三條　會計係ハ本校會計官ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　委員ノ改選ハ每年十一月中ニ之ヲ行フモノトス

第五條　委員ハ通常會員ノ選擧ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第六條　總務幹事又ハ各部幹事ハ各々總務委員又ハ該部委員ノ推薦ニヨリ會長又ハ該部長之ヲ囑託シ其都度氏名ヲ公表スルモノトス

第七條　各組總代ハ各組長ヲ以テ之ニ充ツ但シ組長事故アル時ハ副組長ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

# 龍南會役員選擧規則施行細則

## 第一章　委員候補者ノ推薦

第一條　各部委員候補者ハ通常會員三名以上ノ推薦セルモノタルヘシ

前項ノ推薦ハ總務委員及各部委員ノ候補者各一名ヲ超エテ之ヲナスコトヲ得ス

但シ現ニ委員タルモノハ其ノ部屬ノ委員候補者ニ限リ其ノ定員數ヲ推薦スルコトヲ得

第二條　總務委員及各部委員ノ候補者ノ推薦者ハ指定期間内ニ於テ候補者ノ氏名及其屬スル科類級組ヲ具シ總務委員ヲ經テ會長ニ屆出ッヘシ

會長ハ規定期日ノ經過後ニ於テ前項ニヨリ屆出テタル總務委員及各部委員ノ候補者及其ノ推薦者ヲ生徒掲示場ニ掲示ス候補者氏名ノ順序ハ總務、演說部、雜誌部、劍道部、弓術部、柔道部、野球部、庭球部、端艇部、水泳部、山岳部、陸上競技部、蹴球部ノ順ニ依リ同一ノ部屬ニアリテハ「イロハ」順ニ依ル





## 第二章　委員ノ選擧

第三條　會長ハ選擧長トナリ選擧ニ關スル事務ヲ統轄ス

會長事故アルトキハ副會長其ノ事務ヲ代理ス

第四條　選擧ノ日時ハ其ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ生徒掲示場ニ掲示ス

第五條　選擧ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ總務及各部毎ニ選擧者一人ニ就キ一票トス

第六條　各組ヲ以テ投票區トス

第七條　各投票區ニ投票監査者及投票管理者ヲ置ク

投票監査者ハ當該監督敎官之ニ當リ其ノ區ノ投票ニ關スル事務ヲ監査ス

投票管理者ハ當該正副組長之ニ當リ其ノ區ノ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

當該監督敎官及正副組長事故アルトキハ代理者其ノ事務ヲ代理ス但シ代理者ハ會長之ヲ委囑ス

第八條　投票所ハ各投票區ノ敎室トス

第九條　選擧者(通常會員)ハ選擧ノ日時ニ於テ自ラ所屬ノ投票所ニ至リ指定ノ場所ニ就キテ投票スヘシ

第十條　投票用紙ハ投票ノ當日各投票所ニ於テ之ヲ交付ス

第十一條　選擧者ハ前條ノ投票用紙ニ自ラ總務及各部毎ニ其ノ委員候補者ノ氏名ヲ記載スヘシ但シ總務委員ニ就キテハ其ノ科ニ屬スル候補者ノ氏名ヲ記載スルモノトス





投票用紙ニハ選擧者ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第十二條　各投票區ニハ選擧長及所屬ノ投票監査者投票管理者選擧者ノ外入ルコトヲ得ス

第十三條　投票所ノ秩序ヲ紊ル言動アリト認ムルモノハ投票監査者ニ於テ之ヲ退場セシム

前項ニヨリ退場セシメラレタル者ハ退場後ニ於ケル投票ニ加ハルコトヲ得ス

第十四條　投票管理者ハ投票終ラハ總務及各部毎ニ之ヲ封筒ニ入レテ封緘シ其ノ表面ニ科類級組及投票數ヲ記シ且投票監査者ト共ニ署名スヘシ

第十五條　投票管理者ハ前條ノ手續ヲ終ラハ直ニ開票所ニ至リ其ノ封筒ヲ第十七條ノ開票管理者ニ手渡スヘシ

第十六條　開票所ハ選擧長ノ指定シタル場所ニ之ヲ置ク

選擧長ハ豫メ開票所ヲ關係者ニ通知ス

第十七條　開票所ニ開票監査者、開票管理者及開票立會人ヲ置ク

開票監査者ハ總務ニアリテハ副會長、各部ニ在リテハ當該部長之ニ當リ開票ニ關スル事務ヲ監査ス

開票管理者ハ總務委員及各部委員之ニ當リ當該部ノ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

開票立會人ハ投票監査者及投票管理者之ニ當リ開票ニ關スル事務ヲ監視ス

第十八條　開票所ニハ選擧長及前條ノ者ノ外入ルコトヲ得ス

第十九條　左ノ投票ハ無効トス

(一)　制規ノ投票用紙ヲ用ヒザルモノ

(二)　第十一條ノ規定ニ違反セルモノ

(三)　記載シタル候補者ノ氏名ノ確認シ難キモノ





(四)　候補者トシテ掲示セザルモノノ氏名ヲ記載シタルモノ

(五)　候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ其ノ候補者ノ科類級組又ハ敬稱ノ類ヲ記載シタルモノハ此ノ限ニアラス

第二十條　投票ノ効力ニ就キ疑義ヲ生スルトキハ開票管理者ハ開票監査者ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

## 第三章　委員當選者

第廿一條　有効投票獲得數最高ナルモノヨリ順次ニ所定人員數ノ當選者ヲ定ム

前項ニヨリ當選者ヲ定ムルニ當リ同點者ヲ生ジ其ノ取捨ヲ決定スル事能ハサルトキハ抽籤ニ依リ之ヲ定ム

第廿二條　一人ニシテ數部屬ニ投票ノ多數ヲ得タルトキハ得票ノ多キニ從ヒテ其ノ部屬ヲ定メ得票各相等シキトキハ該被選擧人ヲシテ任意其ノ一ヲ選ハシム但シ總務ニ多數ヲ得タルトキハ他ノ部ノ

得票數ニ拘ラス其ノ委員タルヘシ

第廿三條　委員當選者委員ノ定員數ニ達セサルトキハ當選者外ノ候補者ニ就キ更ニ選擧ヲ行ハシム

第廿四條　委員候補者ノ數委員ノ定員數ヲ超エサルトキハ第五條以下ノ規定ニ拘ラス之ヲ當選者トナスコトヲ得

第廿五條　選擧管理人ハ其ノ部ノ當選者ノ定マルト共ニ之ヲ選擧長ニ報告スヘシ

選擧長ハ全部ノ當選者定マリタル後之ヲ發表ス

## 第四章　委員ノ補充

第廿六條　總務委員ハ投票開票ニ關スル顚末ヲ記錄シテ次期ノ總務委員ニ引繼クヘシ

次期ノ總務委員ハ其ノ任期間前項ノ文書ヲ保存スヘシ

第廿七條　選擧ノ日ヨリ一ケ年以內ニ委員ノ闕員ヲ生シタルトキハ





第二十一條ノ得票者ニシテ當選者トナラサリシ者ニ就キ得票數ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

第廿八條　前條ノ場合ニ於テ當選者ナキトキハ會長ハ選擧ノ日時ヲ定メ更ニ選擧ヲ行ハシム但シ會長ニ於テ其ノ補充ノ必要ヲ認メサル時ハ臨時總務委員ヲシテ之ヲ代理セシメ又ハ闕員ノ儘ニ存スルコトヲ得

第廿九條　前條ノ選擧ヲ行フ場合ニ於テハ第二十四條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

# 龍南會規則別則

## 集會部規則

第一條　集會、會食、其他娯樂ノ爲メノ設備ヲ完成シテ會員相互ノ親睦ヲ厚クシ且確實ナル物品ヲ廉價ニ購入分配シテ會員全体ノ便益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置キ理事ハ龍南會本則役員選擧規則ニ據リテ之レヲ選定シ其任期ヲ一ケ年トス但シ當分ノ間理事ハ名譽會員中ヨリ二名通學會員中ヨリ二名在寮會員中ヨリ一名會計及庶務係ハ本校職員中又ハ其以外ヨリ會長之レヲ嘱託ス

一　理事　五名
一　會計係　二名
一　庶務係　若干名





第三條　役員ハ左ノ事務ヲ取扱フモノトス

一　理事ハ會長ノ指揮ノ下ニ本部ノ事務ヲ監督ス
二　會計係ハ出納ニ關スル諸般ノ事務ヲ取扱フ
三　庶務係ハ會計以外ノ常務ニ當ル

第四條　會員ハ配付セラルヘキ物品ニ對シ凡テ代金ヲ卽時拂トシ購メ本部ヨリ發行スヘキ切符ト引換ニ現品ヲ受取ルヘキモノトス

第五條　本部ノ會計ハ之レヲ特別會計トナシ剩餘金アル場合ハ本校集會所改善資金トシテ相當ノ額ニ達スル迄當分積立置クモノトス

第六條　每月五日迄ニ會計係ハ前月中ノ收支決算表ヲ作成シ理事ヲ經テ會長ニ報告スルモノトス

第七條　會計年度及預金銀行ニ關シテハ龍南會本則ニ準據ス

第八條　理事會ノ決議及其他將來ノ先例トナルヘキ事項ハ之レヲ記錄ニ存シ置クモノトス

現任會長副會長及各部長等左ノ如シ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 龍南會々長 | 溝淵校長 | 副會長 | 平塚教授 |
| 演說部長 | 宇佐美教授 | 雜誌部長 | 八波教授 |
| 劍道部長 | 高森教授 | 弓術部長 | 鈴木教授 |
| 柔道部長 | 白壁教授 | 野球部長 | 上田英教授 |
| 庭球部長 | 布川教授 | 端艇部長 | 池田教授 |
| 水泳部長 | 野々口教授 | 山嶽部長 | 淺井教授 |
| 陸上競技部 | 野村教授 | 蹴球部長 | 池田教授 |
| 會計係 | 辻内書記 | | |

# 第十三臨時教員養成所一覽目次


第一　沿革略

第二　學年歷

第三　關係法令

一　臨時教員養成所官制

二　臨時教員養成所規程

三　高等師範學校等卒業者服務規則

第四　第十三臨時教員養成所規則

第一節　總則

第二節　學科目及教授時數

第三節　學年、學期及休業

第四節　定員、入學及退學

第五節　卒業
第六節　服部義務
第七節　服制
第八節　懲戒
第五　第十三臨時教員養成所學資支給規程
第六　第十三臨時教員養成所生徒服制細則
第七　職員
第八　生徒

# 第十三臨時教員養成所一覽

## 第一　沿革略

大正十五年四月一日文部省告示第二百三號ヲ以テ第十二ヨリ第十四ニ至ル臨時教員養成所ヲ增設シ第五高等學校內ニ第十三臨時教員養成所ヲ設ケ數學科ヲ置カレ同月ヨリ開始スルコト、ナリ第五高等學校長溝淵進馬之ヲ管理ス

四月十七日本所規則並學資支給規程等ヲ制定認可ヲ申請ス

五月一日數學科三十五名ニ對シ入學ヲ許可シ仝月三日授業ヲ開始ス

## 第二　學年歷

昭和二年

四月八日　第一學期授業始ル

四月二十九日（天長節）　休業
七月十日　第一學期授業終ル
七月十一日　夏期休業始ル
八月三十一日　夏期休業終ル
九月一日　第二學期授業始ル
秋分日（秋季皇靈祭）　休業
十月十日（第五高等學校記念日）　休業
十月十七日（神嘗祭）　休業
十一月二十三日（新嘗祭）　休業
十二月二十四日　第二學期授業終ル
十二月二十五日　冬期休業始ル
昭和三年
一月七日　冬期休業終ル





一月八日　第三學期授業始ル
二月十一日（紀元節）　休業
三月十日　第三學期授業終ル
三月十一日　春期休業始ル
四月七日　春期休業終ル

## 第三　關係法令

### 一、臨時教員養成所官制

（明治三十五年三月二十八日勅令第百號）

第一條　臨時教員養成所ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條　臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定スル帝國大學及直轄諸學校内ニ之ヲ置ク

第三條　臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長及直轄學校長ヲシテ之

ヲ管理セシム

第四條　臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク

教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル

書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ囑託シ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第五條　臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之ヲ定ム

## 二、臨時教員養成所規程

明治三十五年三月二十九日
文部省令第八號

第一條　臨時教員養成所ニハ國語漢文科、英語科、數學科、博物科、物理化學科、家事裁縫科、体操家事科、理科家事科、歷史地理科、音樂科、体操科ノ一學科若クハ數學科ヲ置ク





第二條　前條各學科ノ修業年限二年乃至三年トス

第三條　國語漢文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文言語學、歷史、地理、英語(隨意科目)体操トス

第四條　英語科ノ學科目ハ修身、教育、英語、國語及漢文、言語學、体操トス

第五條　數學科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、簿記、英語、体操トス

第六條　博物科ノ學科目ハ修身、教育、動物、植物、生理及衛生、鑛物及地質、英語、体操トス

第七條　物理化學科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學數學、圖書及手工、英語、体操トス

第七條ノ二　家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、家事、裁縫、國語、應用理科、手藝、圖書体操トス

第七條ノ三　体操家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事体操、理科、國語、音樂トス

第七條ノ四　理科家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事數學、体操、英語(隨意科目)トス

第七條ノ五　歷史地理科ノ學科目ハ修身、教育、歷史、地理、法制及經濟、英語、体操トス

第七條ノ六　理科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、動物植物、生理及衛生鑛物及地質、体操、英語(隨意科目)トス

第七條ノ七　音樂科ノ學科目ハ修身、教育、唱歌、器樂(オルガン又ハピアノ)國語、音樂通論、和聲論、音樂史英語(隨意科目)トス

第七條ノ八　体操科ノ學科目ハ修身、教育、体操、柔道又ハ劍道生理及、衛生、英語(隨意科目)トス

第八條　各學科ノ修業年限及各學科目ノ每週數授時數ハ管理者之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第九條　特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學科





目ヲ加除スルコトヲ得

第十條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ヲ分テ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日迄トシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マデトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マデトス

休業日ニ關スル規定ハ管理者之ヲ定ムヘシ

第十一條　入學試驗ハ男子ニアリテハ中學校卒業女子ニ在リテハ修業年限四箇年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フ但シ中學校高等女學校及師範學校ノ卒業者ニ限リ時宜ニ依リ試驗ヲ行ハサルコトヲ得

第十一條ノ二　管理者ニ於テ特別ノ必要アリト認メタルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當分ノ內家事裁縫科ニ限リ其ノ生徒ノ一部ノ教育ヲ教員無試驗檢定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立又ハ私

立ノ學校ニ委託スルコトヲ得

前項委託ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ管理者之ヲ定ムヘシ

第十二條　各學年ノ課程ヲ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ但シ管理者ノ見込ニ因リ其學科目ノ試驗ヲ行ハサルコトヲ得

第十三條　管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

管理者ハ前項ノ卒業者ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條　管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及性行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十五條　生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但已ムヲ得





サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

第十六條　管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十七條　臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徴收セス

第十八條　臨時教員養成所ニ於テハ入學試驗料ヲ徴收スルコトヲ得

第十九條　特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

第二十條　（廢止）

第二十一條　左ノ各號ニ該當スルモノハ在學中補給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ情狀ニ依リ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、第十四條ニ依リ退學ヲ命セラレタル者

二、第十五條但書ニ依リ退學シタル者

## 三、高等師範學校等卒業者服務規則

大正十四年四月二十六日
文部省令第二十九號

第一條　本會ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、東京美術學校圖書師範科及東京音樂學校甲種師範科卒業者ニ適用ス

第二條　卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一、學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間

二、學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ其ノ修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間

前項ノ期間ハ二學科以上ヲ修メタル場合ニ於テハ通シテ八年ヲ超エス

第三條　卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間文部大臣ノ指定ニ從ヒ就職スルノ義務ヲ有ス但シ前條ノ義務一年未滿ナル場合ハ其期間トス





一學科ヲ卒業シタル者ニシテ更ニ他ノ學科ヲ卒業シタルモノニ在リテハ後ノ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間前項ノ義務ヲ有ス

第四條　卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第二條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサルモノハ其理由ヲ具シ道府縣ニ在職スル者ニ在リテハ地方長官其ノ他ノ者ニ在リテハ出身學校長ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ

第二條ノ義務ヲ猶豫又ハ免除シタル場合ニ於テハ第三條ノ義務ハ之ト同時ニ猶豫又ハ免除セラレタルモノトス

第五條　卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリタルトキハ第一條ニ揚ケタル學校ノ學校長ニ於テ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ學資ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ授業費及在學中支給セラレタル學

資學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ對シテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、第二條又ハ第三條ノ義務ヲ履行セサル者

二、服務年限中懲戒免職又ハ免許褫奪ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

第六條　卒業者ニシテ服務年限中研究科、專攻科又ハ帝國大學學部等ニ入學セントスルモノアルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ

第七條　卒業者ニシテ第四條ニ依リ其義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科、專攻科又ハ帝國大學學部等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



本會施行前ノ卒業者ニシテ未タ服務義務ヲ了ラサルモノノ服務年數ニ關シテハ本令ノ規定ニ依ル

大正九年度以前ノ入學者ニシテ從前ノ規定ニヨリ服務義務ナキモノノ服務ハ從前ノ例ニ依ル

明治四十二年文部省令第二十五號高等師範學校卒業者服務規則(中略)

明治四十五年文部省令第八號臨時教員養成所卒業者服務規則ハ之ヲ廢止ス

## 第四　第十三臨時教員養成所規則

### 第一節　總則

第一條　本所ハ師範學校、中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條　本所ニ教學科ヲ置ク

第三條　修業年限ハ三箇年トス

第四條　各學年ノ學科目及其毎週教授時數左ノ如シ

| 學科目＼學年 | 第一學年 | 第二學年 | 第三學年 |
|---|---|---|---|
| 修身 | 一 | 一 | 一 |
| 教育 | 二 | 二 | 二 |
| 數學 | 三 | 三 | 三 |
| 理科 | 一七 | 一九 | 一九 |
| 記簿 | 三 | 三 | 三 |
| 英語 | 三 | 三 | 三 |
| 體操 | 二 | 二 | 二 |
| 計 | 三〇 | 三〇 | 三〇 |

第五條　學年ハ四月一日ニ始リ、翌年三月三十一日ニ終ル

第三節　學年、學期及休業

第六條　學年ヲ分ケ三學期トス

第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第七條　休業日ハ左ノ如シ

| | |
|---|---|
| 一、日曜日 | |
| 一、天長節 | 四月廿九日 |
| 一、夏期休業 | 自七月十一日　至八月卅一日 |
| 一、秋季皇靈祭 | 秋分日 |
| 一、第五高等學校開校記念日 | 十月十日 |
| 一、神嘗祭 | 十月十七日 |
| 一、明治節 | 十一月三日 |
| 一、新嘗祭 | 十一月二十三日 |

一、冬期休業　自 十二月二十五日
　　至 翌年一月七日
一、紀元節　二月十一日
一、春期休業　自 三月十一日
　　至 四月七日

第四節　定員、入學及退學

第八條　生徒ノ定員ハ凡三十五名トシ内若干名ヲ給費生トス

第九條　本所ニ於テハ授業料ヲ徴收セス

第十條　入學ノ期ハ學年ノ始トス

第十一條　生徒ハ左ノ資格ヲ有スル男子ニシテ出身學校長ノ薦擧ニ依リ當臨時教員養成所管理者ニ於テ品行方正身体健全ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者ニ就キ試驗ノ上選拔ス

但第二號中出身學校ヲ有セサル者ハ薦擧ヲ要セス

一、師範學校、中學校ノ卒業者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者及一般





ノ專門學校入學ニ關シ無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者並小學校本科正教員免許狀ヲ有スル者

第十二條　入學志願者ハ左ノ書類等ヲ出身學校長ヲ經由シテ本所ニ差出スヘシ但出身學校ヲ有セサル者ハ直接本所ニ差出スヘシ

一、薦擧書（書式第一號）
一、學業成績並人物考定書（書式第二號）
一、入學願書（書式第三號）
一、履歷書（書式第四號）
一、戸籍謄本
一、寫眞（手拂形半身脫帽撮出前三箇月以内ニ單身撮影シタルモノニシテ臺紙ニ貼付シ裏面ニ氏名ヲ記入スヘシ）
一、所屬長官ノ承諾書（師範學校卒業者ニシテ服務義務ヲ了セサル者ニ限リ之ヲ要ス）

第十三條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ保証人二名ヲ定メテ誓約書（書式第五號）ヲ差出スヘシ

保証人ノ内一名ハ本人ト親族關係アル者若クハ之ニ準スヘキ丁年以上ノ男子ニシテ所得稅ヲ納ムル者タルヘク其他ノ一名ハ熊本市内ニ居住シ一家計ヲ立ツル丁年以上ノ男子ニシテ生徒ノ一身上ニ關スル事件ヲ臨機處理スルノ任ニ耐フヘキ者タルヘシ

前項ノ保証人ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第十四條　保証人死亡又ハ事故ニ因リ其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ速ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ第十三條ノ手續ヲナスヘシ

第十五條　族籍又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ戸籍抄本ヲ添ヘ其ノ旨屆出スヘシ

第十六條　疾病其他止ムヲ得サル事故ニ因リ課業ニ缺席スル者ハ其ノ事由及時日ヲ詳記シ三日以内ニ屆出ツヘシ

疾病ノタメニ課業ヲ缺席スルコト七日以上ニ及フトキハ屆書ニ醫





師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退學ヲ命ス

一、疾病若クハ學業不進又ハ性行不良ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

二、學業成績不良ノ爲進級シ能ハサル者

三、引續キ一箇年以上缺席シタル者

四、正當ノ理由ナク又ハ屆出ヲナサスシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五、出席常ナラサル者

第十八條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ因リ退學セントスル者ハ其疾病ニヨルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ事故ニヨルトキハ事由ヲ詳記シ保証人連署ノ上願出ツヘシ

第五節　卒業

第十九條　生徒ハ第一學年ヨリ順次各學年ノ課程ヲ履修スヘシ
學年ノ修了又ハ卒業ハ平素ノ成績及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ判定ス
但シ學科ニヨリテハ試驗ヲ行ハサルコトアルヘシ
第二十條　卒業者ニハ卒業証書ヲ授與ス

第六節　服務義務

第二十一條　卒業生ハ卒業証書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル服務ニ從事スル義務ヲ有ス
學費ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間
學費ノ支給ヲ受ケサル者ハ修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間
右ノ內最初ノ一箇年ハ文部大臣ノ指定ニ從ヒ奉職スル義務ヲ有ス
第二十二條　前條ノ外服務義務ニ關シテハ大正十年四月二十六日文部省令第二十九號高等師範學校卒業者服務規則ニ依ル





第七節　服制

第二十三條　生徒ノ服裝ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第八節　懲戒

第二十四條　總ヲ生徒タルノ本分ニ背戻スル者ハ其ノ輕重ニ從ヒ之ヲ戒飾停學若クハ放校ニ處ス

書式(用紙美濃紙)

書式第一號

薦擧書

何某

右者貴所入學志願ノ處教員タルニ適良ノ者ト被認候ニ付別紙學業成績並人物考定書相添此段薦擧候也

年　月　日

何々學校長　氏　名　印

第十三臨時教員養成所管理者

第五高等學校長　　殿

書式第二號

學業成績並人物考定書　　何　某

| 學年 | 第一學年 | | |
|---|---|---|---|
| 修身 | | | |
| 國語 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 各學年ノ通約 | | | |
| 全級人員 | | | |
| 各學年ノ席次 | | | |
| 人物考定 | | | |

右證明候也

年　月　日

何々學校長　氏　名　印

（注意）人物考定ハ品行性質志操擧動長所及短所等ヲ記載スルコト

書式第三號

入學願書（用紙美濃紙）

志望學科

給費希望（私費ニテモ可ナリ又ハ希望セス等）

私儀第十三臨時教員養成所生徒トシテ入學致度候ニ付書類相添ヘ此段願出候也

年　月　日

現住所

氏　名　印

第十三臨時教員養成所管理者

第五高等學校長　殿

書式第四號

履　歴　書

原　籍　族稱（寄留者ハ寄留籍ヲ併記スヘシ）

戸主何某何男或ハ弟等

現住所

（假名ヲ付スヘシ）

氏　名

生年月日

一、卒業証書、免許狀、試驗檢定合格証書

何年何月何日官（道府縣郡市町村）（私）立何學校ニ於テ何學科卒業証書ヲ受ク等（証書寫ヲ添付スヘシ）

一、學　業

何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何處何某ニ就キ何學科ヲ修業ス等

一、職　業

何年何月何日道府縣何々小學校訓導拜命何年何月何日依願免官或ハ現今在勤等



一、賞　罰

賞ハ特ニ著シキモノニ限リ書スヘシ

一、兵役關係

適齢前又ハ六週間現役服役等書スヘシ

右之通相違無之候也

年　月　日　右　氏　名　㊞

書式第五號

收入印紙

誓　約　書

私儀今般御所生ト徒シテ入學御許可相成候ニ付テハ在學中御所規則ヲ遵守スヘキハ勿論卒業後ニ在リテハ高等師範學校等卒業者服務規則ヲ服膺可致候也

年　月　日

原籍　族稱

住所　何　某　㊞

生年月日

前書之通相違無之仍テ本人身上ヨリ相起リ候事件ニ關シテハ一切引受ケ可申候也

年　月　日

原籍　族稱

住所

職業

本人トノ關係

保証人　何　某　㊞

原籍　族稱



住所

職業

本人トノ關係

保証人　何　某　㊞

第十三臨時教員養成所管理者

第五高等學校長　殿

追テ保証人向後事故等ニヨリ其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ速ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ御所規則第十三條ノ手續ヲ可致又轉住改印等ノ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ其ノ旨直ニ御屆可申候也

前保證人何某ハ丁年以上ニシテ所得税ヲ納ムル者ニ相違無之候也

年　月　日　何市町村長　何　某　㊞

前保證人何某ハ丁年以上ニシテ當市内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

熊本市長　何　某　㊞

## 第五　第十三臨時教員養成所學資支給規程

第一條　給費生ニハ學資トシテ毎月金貳拾五圓ヲ支給ス

第二條　疾病若クハ事故ノタメ全ク登校セサル月又停學期間中ハ學資ノ支給ヲ停止ス

第三條　退學又ハ支給停止ノ月ハ日割ヲ以テ學費ヲ支給ス

第四條　放校ニ處セラレ又ハ已ムヲ得サル事故ニヨリ退學シタル者ハ支給シタル學資ヲ償還セシム

文部大臣ハ其ノ情狀ニ依リ前項償還スヘキ學資ノ全部若クハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

## 第六　第十三臨時教員養成所生徒服制規則

第一條　生徒ハ制服ヲ着用スヘシ

制服ハ左ノ通リ之ヲ定ム

一、正帽

制式　丸形

品質　絨

色　黒

徽章　圓形内[教]ニノ文字ヲ表シ圓形ノ周圍ニ橄欖三葉ト柏三葉トヲ交互ニ排列シタルモノ(眞鍮製金色)

横章　白線三條(幅各約二分)

一、略帽

制式　普通形(緣約二寸高サ約三寸)

鉢巻　焦茶布(幅約一寸八分)ニ白線(幅約二分二條(間約二分)

品質　麥藁

徽章　正帽ニ同シ

一正服

制式　衣　背廣形立襟

袴　普通

品質　絨又ハ小倉

色　濃紺又ハ黒

釦　圓形ニシテ徽章ヲ表ハシタルモノ（眞鍮製金色）

一略服

制式　衣　正服ニ同シ

袴　正服ニ同シ

品質　小倉

色　藍鼠霜降

釦　正服ニ同シ

一靴

制式　短靴（編上及深護謨ヲ含ム）

品質　革又ハ（ズック）

色　黒

第二條　外出ノ際ハ成ルヘク制服ヲ着用スヘシ若シ和服ヲ着スルトキハ必ス制帽及袴ヲ着用スヘシ





## 第七　職員

管理者　第五高等學校長　溝淵進馬　高知

主事　第五高等學校敎授　木村猪久次　高知

生徒監督　第五高等學校敎授　下村市郎　長崎

配屬將校

陸軍歩兵中佐　本山友吉　佐賀

講師

物理　第五高等學校教授　平塚忠之助　島根
英語　第五高等學校教授　山形元治　熊本
修身　第五高等學校教授　飯島龜太郎　茨城
論理　第五高等學校教授　木村猪久次　高知
數學　第五高等學校教授　下村市郎　長野
數學　第五高等學校教授　野村武衛　山口
數學　第五高等學校教授　高津巖　山口
數學　第五高等學校教授　菅野寅夫　佐賀
休操　陸軍歩兵中佐　永田多門　熊本

事務





會計　辻内一　愛媛
庶務　小陳基　熊本
圖書　加處忠喜　熊本
教務　上村司馬雄　熊本
生徒監督事務　家域鶴年　熊本

醫務

柿田俊彦　熊本

## 第八生徒

第十三臨時教員養成所(第二學年)

松岡正慶　福岡　高杜哲夫　愛媛　杉田好太郎　大阪　坂本克己　福岡
天藤正治　鹿兒島　木村肇夫　廣島　永長良夫　鹿兒島　吉原正剛　宮崎
田偶友雄　福岡　島山千幸　熊本　土岐照年　大分　城戸清　熊本
竹原林平　福岡　隈山長雄　福岡　田中健治　長崎　生田公義　熊本

廣松武夫福岡　石原正孝熊本　安田讓長崎　志氣政興佐賀
石本透熊本　高村文夫熊本　加藤憲治鹿兒島　田中三郎福岡
宮川康男熊本　高田美明山口　古谷勳山口　山口秀雄福岡
愛甲孝國熊本　鄕之內藤三鹿兒島　北村尙佐賀　吉村壽一山口
松永猛熊本



283
別庫
5

昭和二年九月二十五日印刷
昭和二年九月三十日發行

編纂　第五高等學校

印刷者　熊本市楠町三十九番地　田中武八

印刷所　熊本市楠町三十九番地　熊本印刷所　電話七二番